

3児のパパ——「どの子も平等に豊かな教育を」 子育て・教育環境よくする人

特別支援学校が那覇に新設

「生まれ育った那覇市の学校に通わせたい」

那覇に住み市外の特別支援学校に通う知的障がい児は約400人。スクールバスでの長時間の通学、放課後の部活動の制約、保護者の負担など課題をあげ、那覇市への建設を求めました。知事は「切実な思いを受けとめた」と答弁、赤十字病院跡に2022年開校に。

公的施設に学童保育が増加

「放課後の子どもたちへ安全・安心を」

市議時代から求めてきた学校などの公的施設への学童保育の専用施設が全県で169箇所を増やしました。

沖縄協同病院出身、「いのちを守る政治」が信条 負担増からくらし守る人

「お金の有無で、必要な医療が受けられないことがあってはならない」

私は、協同病院で働いていた時、医療費が払えない患者さんが多いことに心を痛めました。市議、県議になり、命を守る政治をめざしてきました。

就学前まで通院窓口無料に

「病院窓口で立てかえ払いをしない
で済む現物給付制度を県の制度に」

私の質問に、県は「平成30年度から導入を検討する」と答弁。就学前までの通院窓口無料が実現、中学卒業まで広げるためにがんばります。

高い国保税 引き下げを

「沖縄県では、
あの地上戦の影

響で65歳以上74歳未満の前期高齢者の人口が少ない。そのために国からの（国保の）交付金が極端に少ない」

高すぎる国保税の原因が国の制度にあることを明らかにして、くり返し引き下げを求めました。政府にも行き、国の財政支援を直接要請しました。これからも国保・介護の負担軽減へ全力をあげます。

無料生活相談14年——困っている人をほっておけない いっしょに解決、身近な相談相手

「今の政治のもとで苦しんでいる人たちがいる。その人たちが助けて欲しいと手を伸ばしている。その手を握るが、握らないのか。それが今あなたに問われているんだよ」

私が30歳のとき、市議選の要請を受けて悩んでいたとき、共産党の先輩からかけられた言葉が忘れられません。

「ひとりじゃ悩まないで」

「娘が大病に倒れ仕事ができない。障害年金だけでは親子二人暮らせない」

寒さで咳き込む相談者を前に、

「ひとりじゃ悩まないで、一緒に解決していきましょっね」

相談者が帰るとき、この言葉をかけています。私自身への言葉でもあります。政治を良くしなければと誓う毎日です。



子どもたちの未来のために 比嘉みずきの思い



キッズ弁当
ニッポン

今日は弁当の日。朝5時に起きて格闘しました。刻み海苔でドラちゃんの顔をつくるのが大変。これから議会で質問です。寝不足ですが、息子の笑顔に元気をもらい、行ってきます！

返済不要の奨学金が実施

「家庭の経済的な理由で、進学の夢を奪ってはいけない」

私自身も奨学金を利用して進学し、返済にも苦労しました。多くの学生たちの声を届けて、月7万円の返済不要の奨学金制度が実現しました。



(写真は森住卓撮影)



●核兵器廃絶の昼休みデモに参加